

# 全国商品取引所出来高

## 12月、1年9カ月ぶりに前年同月比増

全国商品取引所の月間出来高が昨年12月、実に1年9カ月ぶりに前年同月を上回った。平成16年4月以降、前年同月比マイナスを続けていたが、金をはじめとする貴金属、ゴム(東京)、粗糖、小豆、アルミなどの増加が寄与した。

取引所別では東工取が62.4%増。

平成17年の年間出来高は78.4%と11月末に比べ1.9ポイント上昇した。しかし、取引所別では前年を上回ったところはなかった。

商品別・取引所別出来高順位表(単位:枚・%、平成17年12月)

順位	商品名	取引所名	出来高	平成16年12月	前年比	前年同月順位	前年同月比順位の上
1	金	東工取	3,260,080	969,974	336.0	(4)	↑
2	ガソリン	〃	1,180,441	1,362,013	86.6	(2)	→
3	白金	〃	1,153,625	881,178	130.9	(5)	↑
4	Non-GMO大豆	東穀取	891,735	710,314	125.5	(7)	↑
5	ゴム	東工取	720,076	126,381	569.7	(14)	↑
6	灯油	中部取	578,155	1,474,655	39.2	(1)	↓
7	灯油	東工取	548,301	831,682	65.9	(6)	↓
8	ガソリン	中部取	520,918	1,134,600	45.9	(3)	↓
9	とうもろこし	東穀取	360,178	441,767	81.5	(9)	→
10	アラビカコーヒー生豆	〃	191,978	443,677	43.2	(8)	↓
11	原油	東工取	153,928	156,568	98.3	(11)	→
12	一般大豆	東穀取	132,690	152,050	87.2	(12)	→
13	粗糖	〃	121,689	19,028	639.5	(28)	↑
14	銀	東工取	117,777	87,300	134.9	(15)	↑
15	小豆	東穀取	80,819	33,389	242.0	(24)	↑
16	パラジウム	東工取	75,870	25,471	297.8	(27)	↑
17	ゴム(RSS3)	大阪取	45,613	50,088	91.0	(20)	↑
18	アルミニウム	東工取	30,240	14,042	215.3	(31)	↑
19	ロブスターコーヒー生豆	東穀取	29,004	38,784	74.7	(23)	↓
20	とうもろこし	福岡取	24,060	145,478	16.5	(13)	↓
21	ゴム指数	大阪取	23,489	46,632	50.3	(22)	↓
22	アルミニウム	〃	18,291	75,988	24.0	(16)	↓
23	冷凍えび	関西取	17,555	247,589	7.0	(10)	↓
24	コーヒー指数	〃	11,306	59,448	19.0	(17)	↓
25	鉄スクラップ	中部取	9,514	—	—	—	—
26	ゴム(TSR20)	大阪取	4,980	58,317	8.5	(18)	↓
27	日本生糸	横浜取	4,541	16,932	26.8	(29)	↓
28	野菜	〃	4,265	—	—	—	—
29	鶏卵	中部取	2,068	27,692	7.4	(26)	↓
30	ニッケル	大阪取	1,487	8,054	18.4	(34)	↓
31	国際穀物等指数	関西取	1,101	16,209	6.7	(30)	↓
32	Non-GMO大豆	福岡取	1,101	8,372	13.1	(33)	↓
33	Non-GMO大豆	関西取	753	6,661	11.3	(35)	↓
34	軽油	中部取	748	29,720	2.5	(25)	↓
35	小豆	関西取	736	1,158	63.5	(39)	↓
36	大豆ミール	福岡取	735	3,172	23.1	(36)	↓
37	粗糖	関西取	631	2,242	28.1	(38)	↓
38	プロイラー	福岡取	522	10,085	5.1	(32)	↓
39	生糸	関西取	490	673	72.8	(42)	↓
40	IOM一般大豆	福岡取	414	635	65.1	(43)	↓
41	大豆ミール	東穀取	290	996	29.1	(40)	↓
42	じゃがいも	横浜取	289	51,127	0.5	(19)	↓
43	精糖	東穀取	238	220	108.1	(45)	↑
43	精糖	関西取	238	220	108.1	(45)	↑
45	精糖	福岡取	119	110	108.1	(47)	↑
46	軽油	東工取	1	2,986	0.03	(37)	↓
合計			10,323,079	9,822,072	105.1		↑

### 取引所別出来高

(単位:枚・%)

取引所	平成17年12月(A)	前年同月計(B)	(A)/(B)	平成17年1~12月(C)	前年同期累計(D)	(C)/(D)
東工取	7,240,339	4,457,595	162.4	61,780,446	74,447,426	83.0
東穀取	1,808,621	1,840,225	98.3	25,573,238	25,705,687	99.5
中部取	1,111,403	2,666,667	41.7	21,949,566	33,193,259	66.1
大阪取	93,860	239,079	39.3	1,602,257	3,842,553	41.7
関西取	32,810	334,200	9.8	934,257	2,803,812	33.3
福岡取	26,951	168,321	16.0	891,549	3,036,733	29.4
横浜取	9,095	115,985	7.8	384,069	1,164,811	33.0
合計	10,323,079	9,822,072	105.1	113,115,382	144,194,281	78.4

[全国商品取引所連合会調べ]

## 平成18年 合同賀詞交歓会

# 「商品の時代」の幕開け コメ上場に期待集まる

商品先物取引業界の在京5団体(日本商品委託者保護基金、日本商品先物取引協会、日本商品先物振興協会、東京穀物商品取引所、東京工業品取引所)の平成18年合同賀詞交歓会が1月4日、東京・丸の内東京會館ロビーで開かれた。約730名が出席、平成17年の厳しさをかみしめるとともに、新年の発展を祈念した。今年の主幹事と主務省の挨拶要旨は次の通り。

### 保護基金

冬多良實夫理事長

冬の寒さを吹き飛ばすように、今年も先物取引業界の発展を暗に示しているようです。昨年は国際的にテロや天災が目立ち、原油をはじめ国際商品が高騰しました。今年もデフレを脱し、インフレに向かいそうにみえます。

昨年12月28日にはコメ市場申請が官報に公示され、最短で3月には待望の商品が開発はぜひ実現したい。また、改正商取法の施行によって委託者資産の保護は万全となり、日商協は受託業務の自主規制の拡充を進め、先物協会は市場振興戦略会議を設けて将来の繁栄を目指しています。自主機能を充実し、社会の信頼を勝ち取りたい。



鏡開きのあと乾杯

### 経済産業省

迎陽一商務流通審議官

改正商取法施行によって商品先物取引業界の信頼性向上に向けた構造転換の制度的な礎は築かれました。適確な法執行に努めるとともに、法の実効性を高めるための関係制度・運用の改善には機動的に対応していきます。

### 農林水産省

内藤邦男総合食料局長

農政改革が各方面で進められていますが、コメ上場もコメの生産・流通に大きく関わる問題と考えています。リスクヘッジの効用が

### 関西地区

新春賀詞交歓会

関西商品取引所、大阪商品取引所は合同で1月5日午後5時から大阪・天満橋の帝国ホテル・エンパイヤールームで平成18年新春賀詞交歓会を開いた。行政、業界、学会、マスコミ関係者など200人が出席、昨年の法改正の余波で揺れ動いた商品取引業界の発展を願って門出を祝した。

まず主催者として関西商品取引所、岩村信理理事長が「昨年は制度の改正などで、取引

員だけでなく会員組織の取引所も従来に増して大変な年だった。今年は新しい出発点というところで、先物といえは堂島という江戸時代からつづく大阪の歴史を汚すことのないよう取り組んでいきたい」と決意を述べ、大阪商取・天野正義理事長は「昨年は信頼性の向上にむけて大きく踏み出したエポックメイキングの年だったが、本年は当取引所としても事務所の移転による体力

強化、ニッケルキャンペーンなど既存商品の振興策を講じていく」と抱負を語った。例年になく大勢の政治家が祝辞にかけつけていて、衆議院議員竹本直一(財務副大臣)が商品先物議員連盟を代表して、商取業界の中心は明るいバラ色の世界だと激励するなど、会場のあちこちで飛躍の年にしたいという話で盛り上がり続けた。会場には寿司やそばなど

先物協会提供のBSジャパン「マーケットウィナーズ」では、毎週、株式や為替、商品先物に関するトレンド情報が聞ける。昨年12月3日放送では中部商品取引所の木村理事長が出演、10月に同取引所に上場された鉄スクラップについて、上場の意義、今後の展望を語り、信州大学経済学部教授真壁昭夫氏が平成17年の素材・資源相場全般に

ついて振り返った。BS放送普及台数は今年8月末で1千万台を突破。5年後の地上波の完全デジタル化に向け、さらなる普及拡大が見込まれる中で、すでに同番組は本格的な番組として、根強いファンを持つ。放送は毎週土曜日午前11時~11時45分。番組HPは<http://www.bs-j.co.jp/winners/>

大賑わいの賀詞交歓会

国・インドの高度経済成長、アメリカのインフレ懸念などを背景に「商品の時代」が幕を開けています。業界人にとってビジネスチャンスは大きく、創意工夫を凝らして明るい未来を切り開いていきたいと思います。

創意工夫を凝らして

挨拶に続いて、在京5団体代表による鏡開きが行われ、南學政明・東工取理事長が乾杯の音頭をとり、次のように力強く業界を励ました。

不安定な中東情勢、中

国・インドの高度経済成長、アメリカのインフレ懸念などを背景に「商品の時代」が幕を開けています。業界人にとってビジネスチャンスは大きく、創意工夫を凝らして明るい未来を切り開いていきたいと思います。

創意工夫を凝らして

挨拶に続いて、在京5団体代表による鏡開きが行われ、南學政明・東工取理事長が乾杯の音頭をとり、次のように力